

2016年5月26日

6月2日より第1旅客ターミナル南ウイングの 航空会社のカウンター配置が変更となります

成田空港第1旅客ターミナル南ウイング出発ロビーにおいて、各航空会社のチェックインカウンターの配置が、2016年6月2日より変更となります。

現在、南ウイングのチェックインカウンターは、搭乗クラスごとにエリアを分けて搭乗手続きを行っておりますが、6月2日より、別紙のとおり航空会社ごとに搭乗手続きを行うこととし、チェックインカウンターの配置が変更されます。

これに伴い、当社としては既存のチェックインカウンター案内表示システムの改修を行うとともに、自立型の同案内表示システムを出発ロビーに新設(7月中旬設置予定)し、お客様がご利用されるチェックインカウンターをより分かりやすくご案内いたします。6月2日以降のご搭乗手続きに際しましては、弊社ホームページや同案内表示システムをご確認のうえ、お間違えのないよう搭乗される航空会社のチェックインカウンターをご利用下さい。

▶ チェックインカウンター案内表示システム

各チェックインカウンターの手前に設置され、航空会社が使用するチェックインカウンターの案内を行うシステム。



【改修内容】

- ・現在の搭乗クラスごとの表示から、航空会社ごとの表示に変更
- ・カウンターを使用している航空会社のロゴを、当該カウンターに表示する機能を追加

今般のカウンターの配置の変更にあわせて、ファストラベル推進の一環として、航空会社において自動チェックイン機を一新のうえ再配置を行い、お客様には自動チェックイン機において搭乗券をお受取り頂き、その後手荷物預けカウンターで受託手荷物を預けて頂く、2段階の手続きとなります(※1)。これによりお客様の待ち時間短縮を目指すものとなっており、当社としてもお客様の円滑な案内誘導の面でサポートするものです。

なお、今回設置される自動チェックイン機では、受託手荷物のタグを印刷する機能が追加され、お客様自身でタグを受託手荷物に貼付して、手荷物預けカウンターにお持ち頂くこととなる予定です(※2)。(※1、※2 搭乗手続きの方法、タグの印刷機能開始時期は航空会社により異なります。詳細はご利用される航空会社へお問い合わせ下さい)。

【別紙】

2016年6月2日以降のチェックインカウンター配置



Aゾーン	全日本空輸、エアージャパン
Bゾーン	全日本空輸、エアージャパン、エティハド航空
Cゾーン	全日本空輸、エアージャパン、エチオピア航空、ターキッシュ エアラインズ
Dゾーン	全日本空輸、エアージャパン ユナイテッド航空
Eゾーン	ユナイテッド航空、オーストリア航空、スイスインターナショナルエアラインズ、 ルフトハンザドイツ航空
Fゾーン	シンガポール航空、深圳航空、中国国際航空
Gゾーン	深圳航空、タイ国際航空
Hゾーン	アジアナ航空
Iゾーン	エア・カナダ、エバー航空、スカンジナビア航空
Jゾーン	ニュージーランド航空、LOT ポーランド航空、ウズベキスタン国営航空、エアプサン、 MIAT モンゴル航空

(注) 共同運航便にて就航している以下の航空会社をご利用の際は、カッコ内に記載する上記航空会社のチェックインカウンターをご利用下さい。

ヴァージン・オーストラリア(シンガポール航空)、エアベルリン(エティハド航空)、エジプト航空(ターキッシュ エアラインズ)、山東航空(全日本空輸)、ジェットエアウェイズ(全日本空輸)、ニキ航空(エティハド航空)、南アフリカ航空(全日本空輸・エティハド航空)